

## 新型コロナウイルス感染症の影響により進学を諦めていませんか？

奨学金は、経済的な理由で進学が困難な学生が学資を借りたり、給付を受けたりすることです。奨学金には日本学生支援機構、民間企業、地方自治体、新聞奨学生制度などがあります。

### ≪鳥取県≫

- 高校生等奨学給付金 ○鳥取県育英奨学資金（高等学校等）
- 鳥取県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金
- 鳥取県育英奨学資金（大学等） ○鳥取県大学等進学資金助成金・・・教育ローンなどの利息の一部助成  
問い合わせ先：鳥取県教育委員会事務局 育英奨学室（TEL）0857-26-7145
- 鳥取県保育士等修学資金貸付制度 ○保育士修学資金貸付制度・・・どちらも令和5年度分終了。  
次年度についてご検討ください。  
問い合わせ先：鳥取県子育て・人材局子育て王国課（TEL）0857-26-7150
- 鳥取県医師確保奨学金（各種）  
問い合わせ先：鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課（TEL）0857-26-7195
- 看護職員 修学資金・奨学金  
問い合わせ先：鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課（TEL）0857-26-7190
- 理学療法士等修学資金  
問い合わせ先：鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課（TEL）0857-26-7207
- 介護福祉士修学資金等 ○鳥取県ひとり親家庭等高等教育進学支援金  
問い合わせ先：鳥取県社会福祉協議会（TEL）0857-59-6344
- 生活福祉資金貸付制度（教育支援費、就学支度費）  
問い合わせ先：鳥取県社会福祉協議会（TEL）0857-59-6333
- 母子父子寡婦福祉資金（就学支度資金、修学資金）  
問い合わせ先：鳥取県中部総合事務所県民福祉局（TEL）0858-23-3126



★各奨学金・修学資金制度の概要については、鳥取県や市町村HPをご覧ください。進学先でも、奨学金制度等があるところもあります。専門学校や大学HPを検索して見てください。

### ≪日本学生機構≫

- 貸与奨学金  
「第1種」は無利子。  
「第2種」は有利子。
- 「入学時特別増額付与奨学金」  
…1種か2種の申込者で、世帯収入400万円程度が目安。入学後に融資。

奨学金のメリット・デメリット	
メリット	デメリット
・利子は無利子～超低利子（0.01%～0.27%）	・申込期間が限られている
・月12万円借りられる（第2種の場合）	・奨学金だけでは学費をまかなえないことも
・在学中は返済不要、利子も発生しない	・入学金の支払いに間に合わない

両方知っておこう！

### ≪その他・民間≫

- 新聞奨学生制度（各新聞社が設ける）  
…新聞配達のアリバイをしながら就学することを条件に新聞社が学校に学費を立て替え。新聞配達で得た給与から奨学金を差し引かれた金額を受け取るシステム。家賃無料の住居提供等があるところあり。



返済を考えると奨学金貸与を諦めるかもしれませんが、返済不要な給付型の奨学金もあり、鳥取県内の市町村が実施する奨学金の返還支援もあります。将来の収入に応じて柔軟に返済していく「出世払い」型奨学金制度も2024年秋から大学院修士課程を対象に導入が決まり、今より返済が楽になるかもしれません。自分の目的や進路に合う奨学金や返還の方法、支援など、情報収集をして夢を実現しましょう。

※はばたき人権文化センターにご相談・お問い合わせ下さい。

差別落書きや差別発言などに遭遇した場合は、倉吉市人権政策課、又は、最寄りの人権文化センターまでご相談ください。

倉吉市生活産業部人権政策課 TEL0858-22-8130  
はばたき人権文化センター TEL0858-22-0232

はばたき人権文化センターだより

# はばたき

発行：はばたき人権文化センター  
住所：〒682-0872  
倉吉市福吉町2丁目1514-7  
電話：0858-22-0232（FAX兼）  
E-Mail：habataki@ncn-k.net

2月号 NO.422（2023年2月1日発行）

## 新型コロナウイルス感染症発生から4年目に突入

### ウクライナ侵攻開始から1年

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症は4年目に入り、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを、今年5月に季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げると岸田首相は表明しました。マスク着用ルールも原則不要とする方向で見直すとしています。「第8波」の今、死者は過去最高水準となっています。油断禁物です。with コロナの中で生活するにあたり、一人ひとりの判断力が求められます。依然として、医療従事者においては、感染予防対策と治療体制の維持を求められる中、心身ともに疲弊する状況を強いられ続けています。

ロシアのウクライナ侵攻開始から1年。ロシアへの経済制裁のため、石油や天然ガスの輸入ができなくなった結果、中東からの輸入に対しても原油高騰の影響を受けるようになりました。また、世界の穀倉といわれるウクライナの小麦調達が世界中で困難となり、結果、様々な食料やエネルギー資源の調達が困難な状況に陥っています。そして、大幅な物価高騰を招いています。

国内では、賃金・給料は長らく上がることなく、年金は減額、物価は急激な上昇で、経済格差は拡大するばかりです。

1月20日警察庁の自殺統計が発表されました。自殺者数は、2019年に約2万人と減少していましたが、2022年には2万1584人と増加。男女別では、コロナ禍で女性の自死は千人増え、7千人台で推移し、男性が1万4546人と増えました。年齢別では40代～60代の失業者や年金生活者らで増加が目立ち、健康問題、家庭問題が原因となるケースが多く、コロナ禍で小・中高生の自殺も依然として減少傾向とは言えません。

新年度を目前にし、春闘が始まり、大企業は賃上げが進みそうですが、賃上げの波及が弱い中小企業や非正規で働く人たちの生活を歴史的な物価高は直撃しており、大企業との賃金格差拡大と二極化が懸念されています。

Stop 地球温暖化へも大きな影を落としています。年々、大規模災害発生の不安も増大し、子どもたちの未来はどうなるのだろうか、大人として何ができるのだろうかと考えています。4月にこども家庭庁が発足します。「絵にかいた餅」とならないようにと願っています。



: (



2



LGBTQ

)

(

( )



(SDGs)

LGBTI